

# 同志社大学

## 2008年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2009年3月16日提出

所 属	職 名	氏 名
法学部	准教授	太田裕之
研 究 題 目	表現の自由の原理論に関する研究	
研 究 成 果 の 概 要	<p>本年度末に「A. ミクルジョンの自治の理論－多層ガヴァナンスにおける討議民主主義を考ふるための予備的考察」という論文を、富沢克・カ久昌幸編著『グローバル時代の法と政治』（成文堂、2009年3月刊行予定）において発表する。この論文は、長年研究してきた、表現の自由の原理論の一つである「自治」の理論の提唱者であったミクルジョンの表現の自由論を紹介し、検討したものである。</p> <p>昨年末に刊行された大石眞・石川健治（編）『憲法の争点』（新・法律学の争点シリーズ3）において、「憲法改正手続き法の諸問題」の項目を執筆した。</p> <p>昨年12月に開催された同志社大学ワールドワイドビジネス研究センター主催公開セミナー『世界の巨大市場圏とワールドワイドビジネス－新興市場圏と地域統合の学際的研究－』の第1部『巨大市場圏としてのEUと北米経済圏』の第2分科会『EUおよび北米の政治的基盤』において、「アメリカの連邦制」というテーマで報告を行った。</p> <p>ミクルジョンの表現の自由論についてまとめた論文を公表したので、次年度以降は、彼の表現の自由論を日本の憲法状況に応用する試みに取り掛かりたいと考えている。</p>	